

12月6日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ兵、脱走深刻(産経新聞、2024年11月30日)

ついに産経の朝刊にも、デカデカと書かれた。



<https://x.com/JsVB91WrKJpbtqb/status/1864123065745199581?s=09>

〈関連情報〉

ウクライナでは動員努力を台無しする規模の無断離脱や脱走が2024年(5万人以上)に発生し、ゼレンスキー大統領は28日に「脱走兵の自発的復帰に関する法案」に署名、戒厳令中に脱走した兵士(10万人以上)が2025年1月1日まで自主復帰すれば刑事責任に問われない。



<https://x.com/grandfleetinfo/status/1862645085785268269>

②アヴェディエフカ復興(2024年12月4日)

<https://x.com/i/status/1864179333952360682>



割れた窓は全て新品が取り付けられ、発電機で電気を送り、暖房の復旧した。

部屋も綺麗にしてもらえて住民大喜び。

ウクライナへ避難しても、手当ても住居もなくロシア支配地に戻る人が後を経たない理由がこれ。アヴディエフカ市民も避難したくなかったわけ。

まだまだ仕事はたくさん残ってる。

<https://x.com/Mari21Sofi/status/1864179333952360682?s=09>

③ウクライナ防衛線 `崩壊危機、に英メディア「戦略的な大惨事」 バイデン政権の兵器供与、トランプ氏大統領就任までの時間稼ぎか(夕刊フジ、2024年11月29日)

ロシア軍は28日、ウクライナ全土をミサイルや無人機で攻撃した。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、ウクライナ軍が米国製の長射程兵器などでロシア領を攻撃したことへの報復だと表明した。米国や英国は今月半ば、供与したミサイルなどによるロシア領奥深くへの攻撃を容認した。背景には、ウクライナ軍の防衛線が「崩壊の危機」に瀕(ひん)していることがある。ドナルド・トランプ次期米大統領が就任する来年1月20日前に戦線が崩壊すれば、ジョー・バイデン政権などの支援失敗が問われる。ウクライナ戦の早期終結を掲げるトランプ氏は、覇権を狙う中国への強硬路線を強化する構えだ。トランプ氏との会談を一蹴された石破茂首相は、世界情勢の変化を把握しているのか。ジャーナリストの長谷川幸洋氏が最新情勢に迫る。

英国のメディアが相次いで「ウクライナの防衛線は崩壊の危機にある」と報じた。トランプ次期米大統領が来年就任する前に、ロシアのプーチン大統領が大攻勢をかけているのだ。ウクライナはどんな

るのか。

英 BBC は 20 日、米シンクタンク「戦争研究所(ISW)」の分析をもとに、「ロシアは今年、昨年比で約 6 倍の支配地域を獲得した」と報じた。ウクライナは 8 月、ロシアのクルスク州に電撃的な越境攻撃を仕掛けた。東部戦線でロシアの圧力を緩和するのが狙いだった。

当初は成功を収めたが、ロシアはその後、徐々に押し返し、逆に東部の支配地域を拡大している。記事は「ウクライナの兵力不足を考えると、戦略的な大惨事だ」という専門家の見方を紹介した。

次いで、ロイター通信は 24 日、軍事関係者の話をもとに「ウクライナはクルスク州で奪った地域の 40%以上を失った」「東部では、ロシア軍が 1 日 200~300 メートル前進している」などと報じた。

英スカイニュースも「ウクライナの戦線は侵攻されて以来、もっとも安定していない」という英国防相の発言を報じた。ロイター通信によれば「ロシアの進軍は侵攻以来、最速」という。

バイデン米政権は最近、ロシア領まで届く長距離射程の地対地ミサイル「ATACMS(エイタクムス)」や、対人地雷を初めて供与するなど、ウクライナへのテコ入れを図っている。これも戦況悪化を受けた動きとみられている。

バイデン大統領とすれば、来年 1 月のトランプ大統領就任式までに、ウクライナの戦線が崩壊したり、敗北が決定的になる事態は絶対に避けたい。そうなったら、「これまでの支援は十分だったのか」という声が噴出するのは避けられず、バイデン政権の失敗になるからだ。

逆に、就任式を過ぎてしまえば、その後、ウクライナがどうなろうと、責任はトランプ政権に転嫁できる。渋っていた長距離ミサイルなどの供与に踏み切ったのも、「自分自身の政治的思惑からだ」とみられている。

■石破政権これでは米新政権に「はしご外される」

ウクライナがロシアに奪われた東部 4 州やクリミア半島を奪回するのは、もはや幻になりつつある。トランプ氏は停戦を模索している。報道によれば、現在の最前線周辺に非武装地帯(DMZ)を設け、ウクライナの北大西洋条約機構(NATO)加盟は当分、棚上げする案が軸になりそうだ。プーチン氏は経済制裁の解除も求めている。

日本をはじめ G7(先進 7 カ国)は 26 日、イタリアで外相会議を開いて、ウクライナ情勢を討議した。日本の岩屋毅外相はウクライナ支援の強化と厳しい対口制裁に取り組む姿勢を表明した。

相変わらず「バイデン路線べったり」で、トランプ次期政権の方向とは異なる。これでは来年 1 月以降、新政権に「はしごを外される」のは確実だろう。

そもそも、トランプ氏がウクライナ支援に消極的な理由の 1 つは、限りある国の資源を「中国の脅威」に振り向けるためだ。それは、日本の国益にもかなう。

石破政権と外務省は、トランプ政権の発足を前に、日本の国益を最優先に据えた戦略的判断をしているのか。大いに疑問だ。

■長谷川幸洋(はせがわ・ゆきひろ) ジャーナリスト。1953 年、千葉県生まれ。慶大経済卒、ジョージタウン大学大学院(SAIS)修了。政治や経済、外交・安全保障の問題について、独自情報に基づく解説に定評がある。政府の規制改革会議委員などの公職も務めた。著書『日本国の正体 政治家・官僚・メディアー本当の権力者は誰か』(講談社)で山本七平賞受賞。ユーチューブで「長谷川幸洋と高橋洋一の NEWS チャンネル」配信中。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1f8b5f052225b353e5095108020325be>

④最新情報:マイク・ベンツがジョー・ローガンに加わり、バイデンとウクライナの関係についてコメント(2024年12月4日)

ジョー・バイデン社、プリスマ社、マネーロンダリングなどに関するすべての点を結び付けます。

「ウクライナは事実上、ロシアの軍事的支援を受けているため、欧州にロシアに対する制裁を通過させなければならない。しかし、問題は、多くの EU 加盟国が超高価な西側の LNG を購入したくないということだ。ウクライナ国内の天然ガス供給を単純に採取できれば理想的だ」

「プリスマは、西側の LNG をウクライナ国内の代替ガス供給で補うためのツールであり、欧州での制裁を通過させ、ウクライナが安価な天然ガスを得るためにロシアに依存しないようにするためのものだったが、これには NAFTA ガスが必要だった。ジョージ・ソロスはプーチン大統領と数十年にわたって民営化をめぐる権力闘争を繰り広げてきた国営ウクライナガス会社であり、プリスマはウクライナ東部と周囲のクリミア沖のガス供給の採掘権を持つ最大の民間営利企業だった」

「プリスマは、米務省によって、ロシアを経済的に破綻させ、ナフタガス獲得のためのより大きな取り組みの一環としてロシアの戦争マシンを軍事的に停止させ、その領土を実際に誰が支配するかについての軍事的緊張のために部分的に十分に活用されていなかったウクライナの天然ガス供給を強化するための国家戦略の手段とみなされていました。だからこそドンバスはとても重要なのです。だからこそ、反クーデターの後、米国は軍事援助を支援していたのです。これがトランプの軍事援助弾効の目的です。2019年当時、我々はロシアと戦争していませんでした。そうです、今は2019年です。感染拡大の3年前、我々は軍事援助を支援していました。」

その地域の再征服は、エネルギー資源がある地域であり、人口は主に西側に、資源は主に東側にあるため、その二分法に関しては中国と同じである」

「基本的にバイデン社は個人的な利益のために外交政策を実行していた」

あなたがこれをシェアして、彼のウクライナの汚い秘密をすべて公表したら、ジョー・バイデンは喜ばないだろう！

<https://x.com/i/status/1864030182157521112>



<https://x.com/xwmEV0G6JX91091/status/1864133889876480263?s=09>

⑤【RusNews】グルジアでマイダン 2 が勃発!!(ニキータ伝ロシアの手ほどき、

12/4 時事ネタ水曜版)

グルジアで遂にマイダン Ver.2 が勃発…どのようにして起きたのか、どう対処すべきかなどお伝えします！

<https://youtu.be/9Q46kkYC4Gc>



<https://www.youtube.com/watch?v=9Q46kkYC4Gc>

⑥ロシアのサンタクロース列車がかわいい ♡ 60 以上の街に立ち寄り、子供達の夢を運ぶ(2024 年 12 月 3 日)

この列車には伝統的に、メインのサンタクロースのための「受付車両」、ゲームやクエストのための「おとぎの村」車両、公演のための「ステージ車両」と「人形劇車両」、北方のお土産を販売する「ショップ車両」、お茶会用の「ビュッフェカー」と「レストランカー」、そしてサンタクロースのアシスタントチームのための寝台車。

<https://x.com/i/status/1863889213714026905>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1863889213714026905?s=09>

⑦プーチン大統領～米国との関係構築について- カザフスタン、アスタナでの記者質問より(2024年11月28日)- Answers to journalists' questions (日本語字幕)

この動画は、2024年11月28日、プーチン大統領は、カザフスタンへの国賓訪問と CSTO サミットを終え、ジャーナリストとの質疑応答で、米国政策、政治体制、トランプ大統領について取り上げられたものです。別の動画を作成中でしたが、先にこちらを配信します。最後までご視聴いただければ幸いです。

<https://youtu.be/hNz5jpQbP5g>



<https://www.youtube.com/watch?v=hNz5jpQbP5g>

⑧デュランのアレクサンダー・メルクーリス:ウクライナが NATO に最後通牒を突き付ける(2024年12月4日)

<https://youtu.be/GVRXOoDfPxU>




<https://www.youtube.com/watch?v=GVRXOoDfPxU>

⑨12.3 ド変態息子を恩赦したことで掘った3つの墓穴(2024年12月4日)

<https://youtu.be/N-3tZ9z-wrw>

【ド変態恩赦】

- 12月1日、Bidenは「ド変態息子Hunterを恩赦した」と声明で発表した
- BidenやWH報道官、民主党支持者らは「恩赦はない」「何人も法の上に立てない」と主張していた
- Bidenの不意打ち恩赦に民主党内から公然と批判の声が上がっていて、党内がえらいこっちゃになっている
- ド変態息子を恩赦したことは、3つの意味で墓穴を掘ったことになっていて、刑務所にBiden家族を放り込むことができなくなるのは残念ですが、それ以上のアメリカにとっての良い効果がある



<https://www.youtube.com/watch?v=N-3tZ9z-wrw>

⑩西側が管理するメディアはプロパガンダの手段だ！ラブロフ(2024年12月3日)

ウクライナは、国民の意識を操作する技術の使用とテストの実験場となっている！
 ロシア外務大臣セルゲイ・ラブロフが大使館の円卓会議で「ウクライナ危機。グローバルな情報空間」をテーマにスピーチ。

<https://youtu.be/x9OGICrpMts>



<https://www.youtube.com/watch?v=x9OGICrpMts>